



砂小だより

泉南市立砂川小学校
【家庭数配布】
令和3年11月30日号

【マラソン大会に向けて】

本日11月30日に予定しますマラソン大会に向けて、10日よりマラソン練習を積み重ねてきました。

練習を開始したころは、少し走ると汗ばむくらいの陽気の日もありましたが、後半は息が白くなるほどの冷え込みの日が増えていきました。それでも、子どもたちは、それぞれの目指す周回数を走ろうとがんばっていました。

心配機能が鍛えられ、走力も上がったと思います。また、同時に、精神的にも鍛えられたと思います。

是非、マラソン大会そのものの結果だけでなく、お子さんの成長を見つけ、褒めてあげて欲しいと思います。



【学びに向かう力、人間性等について】

現在の学校教育の在り方を定める学習指導要領は、「『学びの地図』として、教職員のみならず、家庭等において幅広く活用」することを目指しています。

その学習指導要領では、子どもたちに育成すべき資質・能力の1つとして、「学びに向かう力、人間性等」が挙げられています。その中に、「主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力」や、「自己の感情や行動を統制する能力」など、いわゆる「メタ認知」に関するものがあります。

今回のマラソン大会でも、この資質・能力の育成を目指しました。

「寒くなってきて走るのがつらいけれど、マラソン大会でのタイムを縮められるように頑張ろう」とか、「マラソン大会までに500週走ろうという目標を決めたから今日は15週走ろう」とかいうふうに、自分で自分の目標を設定し、自己の感情を統制しながら、目標を達成していくことを学びます。

「今日はしんどくて5週しか走ることができなかった」ということや、雨で予定通り進まないなどのうまくいかない経験も学びの1つです。そういうときに、友達とマラソンカードを見ながら励まし合ったり、先生に相談したりして、目標達成を目指します。そして、目標の達成や自分の成長の実感により喜びを感じたり、走ることの楽しさを味わったりし、「学びに向かう力、人間性等」が伸びていくことになります。

今後も、さまざまな学びを通じて、子どもたちの資質・能力の育成を図ってまいります。

